

平成23年度 第2回学校評議員会の実施報告書

岐阜県立可茂特別支援学校

学校長 原 武志

学校住所 美濃加茂市牧野2007-1

電話 0574-28-3150

1 会議の名称 岐阜県立可茂特別支援学校学校評議員会

2 会議の構成 (敬称略)

委員	板津 幹彦	東和組立株式会社 代表取締役
	小川 たか子	中山道発展理事・美濃加茂市商工会女性会理事
	佐藤 恒和	可児市養護訓練センター 所長
	渡辺 厚	下米田地区自治会長会 会長
	渡辺 俊幸	美濃加茂市文化団体連盟 会長

学校	吉田 和歌子	P T A会長
	原 武志	校長
	日比野弘美	教頭
	武市 忠史	小学部主事
	吉田 敏雄	中学部主事
	中嶋 伸吾	高等部主事
	平野 俊之	教務主任

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者から幅広く意見を求め、教育活動の活性化につなげるとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日時 平成24年2月22日(水) 9:45~12:10

場所 可茂特別支援学校 多目的室

出席者 委員5名 学校側7名

5 会議の概要 (1) 学校長挨拶
(2) アンケート(保護者及び学校評議員対象)集計結果
(3) 授業参観
(4) 各学部の1年間の活動
(5) 各分掌の取り組み
(6) 意見交換

6 会議録

(1) アンケート集計結果についての感想・意見

意見1 ・備品等の設置といったハード面では、まだ不十分であるが、それがソフト面での先生のよい取り組みとなっている。そのことが、アンケート結果の良い評価になっていると思います。

意見2 ・アンケートの「児童生徒に愛情をもって接している」が、一番評価が良い。教育の効果を考えると、たとえば、市内にある文化の森ではボランティアの人に説明してもらえていろいろな学習できるので、校外での学習も取り入れてはどうですか。また、寄付したものが、どのように活用されているかを知らせるとよいと思います。

- 意見3 ・ボランティア活動として、この学校で読み聞かせをおこなっています。日程等で学校側が、気を遣われているのではないかと思います。遠慮なく学校の日程や生徒の状況に合わせて、いろいろ言っただければと思います。
- 意見4 ・良いアンケート結果になっています。私の職場においても、このような結果が得られるように努力していきたいと思います。
- 意見5 ・教職員に関するアンケートの項目の「児童生徒に愛情をもって接している」と学校独自項目の「児童生徒が生き生きとして楽しそうである」は、良い評価が約9割になっています。実際に授業参観をしてもそのように感じます。
・「進路に関する連絡や情報提供を適切に行っている」の回答が、良い結果にはなってはいますが、他の項目と比べると数値が低いように思います。
- 学 校 ・アンケートを実施した時には、保護者への説明や実習先が未確定なことがありました。しかし、4月から積み上げてきたことを夏休みに形をつくり、連携先もつくり、その後保護者に説明し、秋には充実した進路支援ができました。
- 意見6 ・保護者と学校との連携が、しっかりとれていると思います。

(2) 授業参観を終えての感想・意見

- 意見1 ・児童生徒それぞれの障がいに合わせて指導がなされています。親からすると安心できると思います。今日の授業を観て実感しました。
- 意見2 ・先生の手作りの教材を用いた熱心な取り組みと指導に、感動しました。少人数に分かれての授業もよいと思います。
- 意見3 ・先生が教材を作っている教室が多かった。子供にプラスになっていると思います。
- 意見4 ・木工や陶芸等の作品を市で展示すると、それを見に来る人がいる。このようにネットワークがつくられていく。学校から街づくりをしていると感じられた。今後もネットワークを大切に、継続してほしい。
- 意見5 ・生徒が作業学習で作品の製作に、一生懸命取り組んでいました。それぞれの作業班で、技能が伸びていくとよいと思います。
・授業中に座り込んでしまう生徒がいましたが、先生が穏やかに指導していた。その対応に好感がもてました。
- 意見6 ・先輩の作成した教材教具を保管し活用することや、その教材教具に付け足していくことが大切です。また、県内特別支援学校の手作り教材の、アイデアコンテストがあるとよいと思います。
- 学 校 ・自作教材のリストを作成しています。学校内だけではなく外部の学校にも情報提供をしています。皆で共有し財産とすることに努めています。
- 意見7 ・備品や教具が不足しているということですが、予算がつかないのですか。要望することが大切なので、現場の声を教えてください。
- 学 校 ・限られた予算での運営となっています。今後、整備していきます。

(3) 各学部、各分掌の取り組みについての感想・意見

- 意見1
学 校
- ・高等部で実施したテーブルマナーは、レストラン側より話があったことですか。
 - ・開校前より招待を受けていました。経営者も地元の方であり、店舗も地元であり、ここでも地域と関係をもち、支援していただいているといえます。
- 意見2
学 校
- ・高等部の進路状況はどのようになっていますか。また、障がい者の雇用率が、一般企業よりも教育委員会の方が少ないと思います。働く場がないのでしょうか。
 - ・現在3年生の内定状況は、一般就労3人と福祉就労8人です。あとの1人は、1年間本校で働いてもらう予定です。本校の卒業生を本校で育てて、社会に送り出したいと思っています。
- 意見3
学 校
- ・離職される方はありますか。
 - ・学校としては、進路支援部の担当者が、卒業生の追跡調査をし、離職の問題について、早めに対策を講じたいと思います。また、同窓会が立ちあがりました。本校での成人式を行うなど、卒業後も卒業生との関わりを大切にし、卒業生の追指導も考えています。
 - ・「にこジョブ」といって、次年度より毎週水曜日に高等部の1年生・2年生が事業所内で作業実習を行うことにします。できれば1人3社で実習を行い、いろいろな業種を経験して、将来に繋げたいと考えています。
- 意見4
- ・地域にいろいろな学校行事を伝え、情報発信をすることが大切です。ボランティアの名前をリスト化しておき登録しておくとうよいと思います。
- 意見5
学 校
- ・養護訓練センターの職員は、可茂特別支援学校を見学したいという希望をもっています。子どもの指導があるため、一度にまとまって来ることは難しいので、数回に分けてでも見学したいと思います。
 - ・本校の小学部、中学部、高等部の連続性があることも大切ですが、就学前の段階も大切です。指導員の方が子どもを連れて来校していただき、本校の体育館を使って何かをする、行事をするなど、今後考えていくことにしましょう。
- 意見6
学 校
- ・この辺りには農家が多いので、農家での職業体験をしてはどうですか。
 - ・農家や山之上の果樹園での体験も考えています。また、酪農をされているところでの体験も考えています。

7 会議のまとめ

日 程	9 : 4 5 ~ 9 : 5 0	校長挨拶
	9 : 5 0 ~ 1 0 : 1 5	アンケート集計結果
	1 0 : 1 5 ~ 1 1 : 0 0	授業参観
	1 1 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0	各学部、各分掌の報告等
	1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 1 0	意見交換

授業参観、資料を用いての各学部と各分掌の活動や取り組みの説明、及び新聞記事による本校の活動の紹介により、一層本校の教育活動が理解していただくことができました。

また、学校評議員の方々から貴重なご意見をいただいた。明日からできること、将来にわたり長期的、計画的に行うことなどさまざまな観点からご示唆をいただいた。これらを踏まえ今後、充実した教育活動を実践していきたい。